

令和5年度山梨糖尿病療養指導士育成会研修会 と 山梨地域糖尿病療養指導士認定制度

特定非営利活動法人山梨糖尿病研究会 理事長
山梨大学医学部内科学講座糖尿病・内分泌内科
土屋 恭一郎

糖尿病患者さんの数は増加の一途を辿っています。平成29年度の国民健康・栄養調査でも、成人男性の18.7%、成人女性の9.3%が「糖尿病」が強く疑われています。そのため、糖尿病とその療養指導に関する幅広い専門知識をもち、患者さんの生活を理解し、適切な自己管理ができるように援助する役割を持つ看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、歯科衛生士が求められています。日本糖尿病療養指導士は、そのような役割を担えるコメディカルの方々に与えられる資格であり、日本糖尿病療養指導士認定機構が認定します。

しかし、日本糖尿病療養指導士の受験資格が得られない場合があります。そこで、県内で糖尿病療養指導に興味をもち、実際に指導に携わっておられる方を対象に、山梨糖尿病療養指導士育成会は、山梨地域糖尿病療養指導士育成・認定委員会を発足させ、山梨地域糖尿病療養指導士(CDE-Yamanashi)を認定する制度を平成17年度より始めました。

山梨糖尿病療養指導士育成会研修会は日本糖尿病療養指導士、山梨地域糖尿病療養指導士を目指す方々を支援する勉強会です。受験希望の方は是非御参加ください。また、山梨地域糖尿病療養指導士の受験資格の一つにもなっています。受験の予定がなくても勉強したい方は大歓迎です。

山梨地域糖尿病療養指導士の受験資格は別紙を御覧下さい。糖尿病患者指導に熱意あふれるコメディカルの方々がこの資格を取得され、ますます糖尿病療養指導に積極的に取り組んでいただければと思います。

本会の研修会は、「糖尿病療養指導士ガイドブック」に沿って行われます。
参加申込は各回の期日までにホームページより申請してください。

NPO 法人山梨糖尿病研究会（事務局：山梨大学医学部糖尿病・内分泌内科 内）
TEL 055(273)3310 FAX 055(273)9685
Mail : cde.yamanashi@gmail.com

研 修 会 予 定

1. 日 時

第 1 回	2023 年 9 月 3 日（日）	9:00 ~12:30
第 2 回	2023 年 10 月 1 日（日）	9:00 ~12:30
第 3 回	2023 年 11 月 5 日（日）	9:00 ~12:30
第 4 回	2023 年 12 月 10 日（日）	9:00 ~12:30
第 5 回	2024 年 1 月 14 日（日）	9:00 ~12:30

詳細は別ファイルのカリキュラムを御参照下さい。

2. 場 所

Web 開催（Zoom）で行います。

3. 参加費

- 1) まだ日本糖尿病療養指導士、山梨地域糖尿病療養指導士(CDE-Yamanashi)の資格をお持ちでない方。

1 回ごとの申込みで、1 回 2,000 円となります。

研修会の申込は、当研究会のホームページより申請してください。
全 5 回の研修会終了後、研修会申し込み回数分の金額の請求書を郵送しますので、請求書に記載された口座に振込をお願いいたします。入金確認後、領収書をお送りいたします。

3 回以上参加された方には研修会受講修了証を交付いたします。
山梨地域糖尿病療養指導士の認定試験を受けるためには、4 回以上の受講が必要です。

2) すでに山梨地域糖尿病療養指導士の資格を取られている方。

1 回ごとの申し込みで、1 回 2,000 円となります。

研修会の申込は、当研究会のホームページより申請してください。

全 5 回の研修会終了後、研修会申し込み回数分の金額の請求書を送付しますので、請求書に記載された口座に振込をお願いいたします。
入金確認後、単位票をお送りいたします。

山梨地域糖尿病療養指導士の方は、1 回の出席で 1 単位を取得できます。

3) すでに日本糖尿病療養指導士の資格を取られている方。

毎年、日本糖尿病療養指導士の方に向け、1 回の出席で日本糖尿病療養指導士認定機構の認定更新のための＜第 2 群＞の 1 単位が取得できるよう申請中です。(今年度は第 3 回～5 回研修会を申請中です。)

申請結果につきましては、ホームページにてお知らせします。
研修会の参加費・支払い方法は、山梨地域糖尿病療養指導士の資格を取られている方と同じです。

*参加費はテキスト準備、通信費、会場準備費などにあてさせていただきます。

4. 研修内容は、
糖尿病療養指導ガイドブック

日本糖尿病療養指導士認定機構編 メディカルレビュー社

に基づいて行いますので各自必ず御用意下さい。

(各講師よりの配布資料 (PDF ファイル) も用意されます)

日本糖尿病療養指導士の受験資格その他情報は日本糖尿病療養指導士認定機構のホームページ(<http://www.cdej.gr.jp/>)を御覧になって下さい。

なお、日本糖尿病療養指導士受験資格の中の 4. の講習会と本研修会は異なります。本研修会と日本糖尿病療養指導士受験資格とは関係ありませんが、山梨地域糖尿病療養指導士 (CDE-Yamanashi) の受験資格の一つです。

日本糖尿病療養指導士・山梨地域糖尿病療養指導士認定試験の受験を予定されていない方でも勉強のために参加される方は大歓迎です。

山梨地域糖尿病療養指導士（CDE-Yamanashi）認定制度

次の各事項をすべて満足することを受験資格とします。

1. 山梨県内に就労している、看護師、准看護師、保健師、
管理栄養士、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、歯科
衛生士。
2. 2年以上の糖尿病患者の療養指導に携わった経験のあること。
(所属長の証明で可)
2. 山梨糖尿病療養指導士育成会が主催する研修会について、単年度に 5
回のうち4回以上の出席を得ること。
- 3.

なお、山梨地域糖尿病療養指導士（CDE-Yamanashi）認定試験を受験するため
には、

令和5年10月31日（火）までに、受験申込は当研究会のホームページより
申請してください。（受験申込フォームは10月上旬頃の公開を予定しており
ます。）

申込が確認された方には随時、

- ・ 症例記録用紙（10 症例）
- ・ 療養指導経験の証明書

をお送りいたします。

これらを記入し、認定試験受験資格に関わる医療職免許証のコピー（例：看護
師免許証のコピー）とともに、

令和6年1月31日（水） までに御返送下さい。

山梨地域糖尿病療養指導士（CDE-Yamanashi）の認定試験は

令和6年3月10日（日） に予定しています。

症例記録用紙の内容を重要視し、認定試験の結果とあわせて評価・認定させて
いただきます。

また、日本糖尿病療養指導士認定機構が認定した日本糖尿病療養指導士の方
は、書類審査のみで山梨地域糖尿病療養指導士の認定を行います。（別紙申請
書があります。）

山梨地域糖尿病療養指導士認定試験受験までの流れ

各回の期日までに、山梨糖尿病療養指導士育成会研修会の受講を申し込む
(ホームページより申請してください。)

山梨糖尿病療養指導士育成会研修会の受講
(9/3, 10/1, 11/5, 12/10, 1/14) 4回以上の受講が必要

10月31日(火)までに認定試験受験申し込み(ホームページより申請してください)

1. 症例記録用紙(10症例)
 2. 糖尿病療養指導の経験の証明書
- をお送りします。

令和6年1月31日(水)までに、

1. 症例記録用紙(10症例)
2. 糖尿病療養指導の経験の証明書
3. 医療職免許証のコピー

を育成・認定委員会へ郵送する。
受験手続き完了

令和6年3月10日(日) 認定試験
場所：山梨大学医学部 臨床大講堂

令和6年4月下旬頃、可否を通知

山梨地域糖尿病療養指導士(CDE-Yamanashi)更新規定

1. 資格取得後 5 年間のうち、最低 2 年間は実地の糖尿病療養指導に従事していること。(所属長の証明で可)
2. 5 年間のうち、最低 20 単位の研修を受けること。単位の決め方は、原則的に日本糖尿病療養指導士認定機構の認定基準による。
 - (1) 山梨糖尿病療養指導士育成会が主催する研修会
1 回 1 単位
 - (2) 山梨糖尿病患者教育スタッフ研究会が主催する研究会
1 回 1 単位
 - (3) 山梨糖尿病療養指導士会（山梨 CDE の会）の研修会
180 分未満 0.5 単位、 180 分以上 1 単位
 - (4) 上記 3 研修会・研究会で講演・発表を行った場合 1 単位
 - (5) 県内で行われる糖尿病に関する講演会で、山梨地域糖尿病療養指導士育成・認定委員会が認定し、証明書を交付するもの。
60 分以上 90 分未満 0.5 単位、 90 分以上 120 分未満 1 単位
120 分以上 1.5 単位
 - (6) その他、日本糖尿病療養指導士の単位が取得できる講演会
日本糖尿病療養指導士認定機構が認定する単位と同じ単位
3. 5 年間に療養指導を行った 10 症例に療養指導記録
4. 上記(1)、(2)、(3)の研究会・研修会で 10 単位以上を取ることが望ましい。
5. 各職域の糖尿病に関連する講演会、研究会については、事務局へ 1 ヶ月前までにプログラムを提出していただければ、その時間数に応じて認定・単位の付与を行う。